

## びえい未来トーク

開催日：令和6年11月1日（金）午後1時30分～3時30分

会場：役場2階会議室

参加団体：道北勤医協・美瑛健康友の会（7名）

町出席者：角和町長、新村課長、土井課長補佐、渡辺（記録）

### 1 開会のあいさつ

会では当トークが6回目。懇談に向けたまちづくりアンケートを実施。内容は多岐に渡ることができるだけ載せてある。時間の中でまちづくりに関し懇談したい。挨拶と魔も好評共に一通り触れていただき。後ほど話をしていきたい

### 2 角和町長あいさつ

直接町民と話せる貴重な機会。6回目の実施を感謝に耐えないと思っている。本日は提案・生活の中でのご意見をいただきたい。忌憚のないご意見をいただきたい。

### 3 事前アンケート回答（角和町長より）

Q.街路樹をLEDに換えて電力消費を抑えているが、役場庁舎・施設ではどんな取り組みをしているか。

A.LED化は各施設で進めている。一度に進めるとなると莫大な費用が掛かるため、優先順位の高い施設からLED化を進めている最中。

Q.「ハザードマップ」「防災ガイドブック」「災害時に自分の身を守るために」の啓発活動を繰り返して行ってほしい。避難所に備蓄されている食料等を教えてほしい。

A.各避難所には水・毛布などの物資を配置している。食料については置いてある施設・ない施設があるが、役場在庫含め3日分の食料を用意している。3日しのぐことで国の支援までつなぐことができると考える

Q.美瑛川の景観保持のため河川内の雑木・雑草を除去し、憩いの場にしてほしい。

A.美瑛川の管理は国（旭川開発建設部）

できることは限られるが景観維持に向けて、国に対して要望していく。

青い池など要望に応じていただいた事例もある。

Q.閉校した校舎の屋根に太陽光パネルを設置し、避難所として活用してほしい。

A.閉校した校舎はほとんどが避難所に指定されている。太陽パネルの設置はできていないが、町内各施設の太陽光パネル設置に向けた調査を今年度行っており、その結果をもとに

進めていく。ただ避難所こそ太陽光パネルという視点は重要。

Q.2022年に「脱炭素宣言」をしていますが、具体的な方策はどのようになっているか。

A.上川管内全町村と歩みを一つに上川全域で足並みそろえて宣言をした。

昨年度は再エネ導入ポテンシャルの調査や温室効果ガスの排出状況の調査を行った。

今年度は実行計画を進めている。具体的にどのような行動でゼロカーボンを実現できるか思案中。白金の国立公園がゼロカーボンパーク認定。

Q.広報で意見やアンケートを求めています、回答数や内容について広報で知らせてほしい。ホームページに載っても見られない。

A.パブリックコメントなどは公表してきた。広報については分量もあるので方法は考えないといけないが、いただいた意見を返すというのは重要。良い方法を探っていきたい。

Q.带状疱疹のワクチン接種に補助してほしい。(生ワクチン) 1回 7,040円、(不活化ワクチン) 1回 22,880円×2回

A.過去に議会でも回答したが、带状疱疹ワクチンは任意接種の位置づけになっている。带状疱疹は単純な感染症ではないなどの要因もあり、定期接種化や補助は検討していない。実施している町もあることや国の動きがあることも承知しているので

Q.国道・道道・国立公園の清掃や美化活動にボランティアの活用や関係機関への要望をお願いしたい。

A.町エリア以外にも美化をという意見。缶トリ一作戰など多くの方に環境美化活動に取り組んでいただき感謝している。また国道植樹柵の雑草も関心寄せる方が多い。美瑛の玄関口であり、ボランティアや役場職員で美化活動を行っている。この先の植樹柵の管理も検討。柵自体を減らすというのも一案であり国と協議中。

Q.JRと協議して美瑛駅周辺の雑草の除去し花壇などに整備してほしい。

A.JRの敷地内なのでお願いをしている美瑛駅はJRの委託先が管理しており、委託管理会社の都合から手が回らないという可能性も考えられる。

Q.町の農業支援にもっと農業者の声を反映してほしい。

A.今も農業者の話を聞いたり、農民連盟、農協などの意見を聞きながら農業施策に取り組んでいるところ。直接農業者を支援する制度もあるが人数や金額が限られている。

Q.憩が森団地手前の車道の排水溝に泥が詰まっているので取り除いてほしい

A.詳細な場所教えていただければ確認し対策を講じていきたい。

Q.空き家の落雪、交差点の除排雪対策はどのようになっているか。

A.担当課でパトロールを行い、基本的には空き家であっても所有者に管理をお願いしている。

Q.慈光園の堤防側の道路を整備してほしい。

A.道路にひび割れがあるのは承知している。各町内会や行政区で優先順位をつけていただき道路の補修を進めている。地域の皆さんと密接な協議をさせていただけたら

Q.交通手段の確保としてバスの運用を広げ、経済的負担軽減と運転手雇用につなげてほしい。

A.バス運転手不足は全国各地で問題になっている。バスは住民の足であり重要。青い池方面など観光客から人気が高く需要のある路線もあるが、不人気の路線については周辺自治体と協力。町内のスクールバスでも運転手が不足している。増便などは難しい状況だが取り組んでいきたい。デマンド型（予約制の）車やバスという案もあり、まだ結論は出せていないがより便利な交通体系の構築を進めていく。

デジタル技術でピンポイントで運用できるもの、実例などあればお聞かせいただきたい。

Q.10年ごとに水道工事（部品交換）が行われているが、事前の通知（ハガキ）があると不安が解消される。

A.メーター気交換7年で更新している。これについてはハガキで通知している。ただ突発に始まる水道工事であれば、詐欺の可能性などもちらつき簡単には受け止めにくいと思う。十全に周知していきたい。

#### 4 質疑応答

##### 6項目について質疑応答を実施

・閉校した学校の給食調理場の状況は把握しているか。災害時には調理場が重要になるのではないか。

新村課長

→閉校した学校の民間利用が進んでいる。給食の調理場については、どうしても使わないと衛生面で不安が出てくる。災害時には給食調理場を使わなくても対応できる体制を構築している。

・かつて、美瑛川東小あたりが花壇になっていた。

土井補佐

→堤防の方に上がっていく道の花壇。あの一帯が東小学校の菜園だった。生徒数減によって

校舎内の花壇で菜園を行うようになったので使われなくなった。

・今川底が浅くなっており、氾濫のリスクだと思われるが対策はとれるか。

→角和町長

洗堀が有効であることは把握している。石狩川上流の町村で国へ要望しており、洗堀すること、雑木の除去を要望している。

・今年国で内窓の補助が行われたが、町からも補助ができないか。灯油を燃やすよりも脱炭素に向けてよいのでは。

角和町長

→現状薪ストーブの補助はあるが内窓の補助はない。今年の薪ストーブの補助もニーズを確認しながら進めている。よりニーズの高い支援を進めて生きたい。

→新村課長

再エネというわけではないがリフォームの助成はあり、内窓の設置にも使える。脱炭素と関連付けていく方向も考えたい。

・美瑛は坂や丘が多い。孤立の危険性などは把握されているか。

過去には南富良野の小さな川が氾濫が起り甚大な被害があったという例もある。

角和町長

→基本的にはハザードマップで火山災害や豪雨災害への対策を示している。ただ災害は想定を超えることもある。床下浸水が毎度怒るような場所もあり、対策できるところは個別に対策している。

・意見への回答は、ホームページで示されると高齢者が見ることができないこともある。

角和町長

→ホームページやネットを進めていくのも重要であるが、従来の紙媒体で発信していくことも重要。より多くの方に伝えられるような方策を探っていきたい。

#### 带状疱疹ワクチンについて

・全道的に補助を行う自治体が増えてきている。町内でワクチンを接種できる施設が2か所あるが、それぞれで金額が異なる。おそらく扱っている薬が違うと思われる。どのワクチンを受けていいか混乱してしまう。

→新村課長

金額が変わるのは、薬剤の違いや、自由診療扱いのために主医療などが変わってくる。例えばコロナワクチンは町立病院と循環器で協議して値段を決めている。町で補助を行うことになれば金額の調整はしたい。

- ・もし病院がなかったら旭川まで行く必要がある。町に病院があることの安心感は大きい。町立病院をいかに残していくかを考えたい。
- ・過去に町立病院を受診した友人がなんでもないと帰され、何とか無理を言って入院させたがその結果重大な疾患があることがわかった。対応に問題があるのではないか。

角和町長

→基本的には町立病院で対応できないと判断した場合は他院へ依頼する形にはなっている。このような事例がないように病院と協議をしていきたい。(前川武さん)

- ・子宮頸がんワクチン

副作用が強いことで知られ、リスクに対応できるように摂取できる場所も限られている。昨年 4000 件程度副作用が報告され、2000 件程度は重篤と報告されている。

ワクチンは健康な体に打つものであるが、効果期間を延ばすためにさまざまな成分が入っており健康被害を起こすことが多いと考えられる

带状疱疹も基本はウイルスなので感染がないという言い方は微妙。発症すると強烈な症状がでる。ワクチンの副作用なども考えられる。いろいろな自治体で実施しているのでその調査は行ってほしい。国が定期接種を始める前に動いてほしい。

角和町長

→現状は各自の判断でワクチンを接種いただいており、判断材料となる情報を発信していきたい。带状疱疹ワクチンについて、各自治体の実施結果などぜひ調査したい。

- ・学校が始まる前に遊びたいという子もおり、親が送るケースがある。スクールバスの運行時間などを調整すれば、公共施設の利用や買い物など使い方が広がっていくのではないか。最近では免許証を持たない方もおり、バスの確保は重要ではないか。

角和町長

→スクールバスの時間は、学校や保護者の意見を参考にしながら調整できる。多くの方が使いやすい公共交通をめざしたい。市街地で巡回する交通機関が欲しいという意見を多くいただくが、各地域から市街地へという交通手段も重要。

観光

- ・近年は美瑛の観光の注目度が高くなり高い。財政的な問題もあろうかとは思いますが、力を入れていただきたい。清掃美化活動ボランティアなどももっと参加してほしい。
- ・国道の美化活動。市街地側の植樹樹は非常にきれいになったが反対側が気になってしまう。老人クラブなどでも協力したいが体力的な問題もあり、何かいい案はないか。

角和町長

→ボランティアにもっととは言いにくいものがある。Be コインの配布など街づくりに参加したくなるような仕組みづくりを進めていきたい。

・畜産関係者、面積は広いが人員が足りない。

角和町長

→一人一人に耳を傾けていきたい。畜産は町内の農業生産の3分の1をしめている。農家の実態に応じた支援策を講じていきたい。

・バスについて。運行時間を変えてほしい。特に、美瑛から白金への最終便が16時にあるがその帰りの便がない。

保養センターの景観が悪く看板が曲がったり、ゴミの山があったりと非常に気になる。

保養センターに椅子を3つ設置したが道の敷地ということで撤去依頼がきた。その椅子の周辺は除雪してもらえず1つは壊れてしまった。舗装や歩くのに邪魔な場所ではない。

アイン薬局のあたりにも椅子がなく立って待っており困っている。

角和町長

→保養センターの看板等については状況確認したい。

アイン薬局は町道になるので町で設置ができるが、冬は除雪のためによけている。

土井補佐

→白金から美瑛の遅い便がないのは、ドライバー不足と勤務時間の問題があると伺っている。運行時間を変更してほしい要望があった旨を道北バスにはお伝えしておく。

・保険証

マイナンバーカードが任意である状況で保険証への移行は問題があるのでは。特に高齢者はカードの管理ができず、暗証番号をカードに書いたりしてしまっている。

詐欺などのリスクもある状況なので、引き続き紙でいいのではないかと思うが町の考えはどうか。

角和町長

→美瑛町として不便を感じるケースもあるので多自治体の対応など注視していきたい。

午後3時30分閉会